平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	提携講座(ボランティア概論)(Introduction to volunteer)			授業コード	A032101
担当教員名	高見　大介			科目ナンバリングコード	
配当学年	1年生	開講期			
必修・選択区分		単位数	2単位		
履修上の注意または履修条件	大分県日田市中津江村でのワークキャンプ活動(森林保全2泊3日)に参加できる者				
受講心得	大分県に興味を持ち地域課題に主体的に取り組み、自分自身が出来る事を考える				
教科書	なし				
参考文献及び指定図書					
関連科目	社会参画入門、社会参画実習1、人間力概論、産学一致の勧めなど				

授業の目的	主体的な地域社会への参画を目的とし、自身の存在意義を感じると共に地域社会でのやりがいを見出す。
授業の概要	①過疎が進む地域について学び、実際に大分県の過疎地域に行き、現状を深く理解します。また、自分自身が何が出来るかをグループワークの中で考え、整理する。また、実際の地域貢献活動で汗をながし、地域への理解を深める。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： オリエンテーション ○授業の目的・内容・進め方・成績評価等について説明	
第 2 週 ： ワークキャンプ概論 ワークキャンプとは何か？どの様な人がどの様な活動を行っているのか。 ワークキャンプの意義を学びます。	過疎地域について調べる
第 3 週 ： アイスブレイク まずは新しい仲間を作ります(グループワーク)	
第 4 週 ： チームビルデング チームを編成し、共通の目標をたてる。	学生ボランティアを調べる
第 5 週 ： 現状調査(地域) 学内資料(図書館・インターネット等)での現地の情報を集める。 各チームが集めた情報の共有(チーム発表)	中津江村について調べる
第 6 週 ： 活動計画(ワークの計画) 自ら集めた情報を基に実現可能なワークの立案・計画 各チームの立てた計画の発表・議論・修正 **第 7 週 ： 活動オリエンテーション(現地)** 活動の注意事項の確認と、現地コーディネータによるオリエンテーション **第 8 週 ： 現地調査(文化)** 鯛生金山跡地・地元神社の見学 **第 9 週 ： 現地調査(森林)** 作業を行う現場の現状確認と危険予知活動 **第10週： 里山保全活動** ①下草刈り **第11週： 里山保全活動**	危険生物の情報を調べる

②下草刈り	
第12週： 里山保全活動 ③下草刈り	
第13週： 里山保全活動 ④下草刈り	
第14週： 地域住民との対談 過疎地域の現状を聞く 意見交換	自分たちの活動をまとめる 地域の情報を整理する
第15週： まとめ（ふりかえり） 今後実現可能な課題解決策を考え、ポスターにまとめる チーム発表	今回の授業での活動を総合的にまとめ、総括する
第16週： 期末試験	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考		

〇単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	①準備に主体的に参加し、自らの活動の意義を見出す。 ②地域の課題と自らの持てる力を直結し、積極的に活動を行う
【知識・理解】	①地域課題を理解する ②自分の力（長所・短所）を理解し、活用と成長をする
【技能・表現・コミュニケーション】	①新しいチームを編成し共通目標をたてる。 ②地元住民の方々の話を聞き、自分の意見を持つ
【思考・判断・創造】	リテラシーのプロセス（情報分析→課題発見→構想→活動）を獲得し、そのスキルを活用できる。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			**30点**	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。			**20点**	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			**25点**	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。			**25点**	

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	各テーマの成果物（ポスター）により、大分県内における問題点について、論理的に表現できているか、リテラシーのプロセスが活用できているかを評価します。
発表・その他（無形成果）	実際の現地（大分県日田市中津江村）でのワーク（森林整備作業）での主体的な活動。チームを円滑にし活動をする。地元住民との討議で得た現状を、具体的に今後の学生生活に活かす計画をする。